

「いわて国体北上市民の取り組み」 成果報告フォーラムを開催

「いわて国体北上市民の取り組み」成果報告フォーラム希望郷いわて国体・希望郷いわて大会北上市実行委員会主催は3月25日、日本現代詩歌文学館で行われました。

フォーラムでは、昨年の希望郷いわて国体と希望郷いわて大会開催までの取り組みについての事例発表と座談会を実施。市民など約200人が来場しました。事例発表では、

北上市立南中学校の木村利光校長が北上陸上競技場のいす清掃や花いっぱいプロジェクトなど同校の取り組みについて紹介したほか、「おもてな



座談会で意見を述べるパネリストの皆さん

しのまち相去」連絡会の宮本育生副会長が北上総合運動公園周辺の地区一斉清掃活動やフラワーロード花壇の整備などの活動について紹介しました。また、同国体・大会北上市実行委員会が、市民総参加で行った活動やボランティア活動などについて説明を行いました。

座談会は、同国体・大会実行委員会事務局の及川健二次長がコーディネーターを務め「国体のレガシー（遺産）の継承、スポーツによるまちづくりのこれからを考える」をテーマに実施しました。パネリストは、木村校長と宮本副会長、きたかみ市各種女性団体協議会の高橋マサ子会長、同国体ソフトテニス競技会青年男子岩手チーム代表の南郷周英選手、(公財)北上市体育協会の佐々木茂雄専務理事、市まちづくり部スポーツ推進課の高橋剛課長。同国体・大会の取り組みなどを振り返り、財産(レガシー)の継承やスポーツによる地域活性化などこれからのまちづくりについて意見が交わされました。

災害対策本部の態勢を確認 北上市災害対策本部運営訓練

北上市災害対策本部運営訓練は21日、本庁舎で行われました。人事異動後に災害が発生した場合でも、即座に災害対策本部の運営を行えるように、各部署の役割を確認することが目的。北上地区消防組

合職員を評価者とし、高橋市長をはじめ各部長や課長など約60人が参加しました。訓練では、台風の接近による大雨の影響で立花地区に土砂災害の危険性があるという想定のもと、災害対策本部会

岩手県産業廃棄物協会中部支部と 災害廃棄物協定を締結

市は、一般社団法人岩手県産業廃棄物協会中部支部(小原研支部長)と「災害廃棄物協定」を14日、締結しました。

廃棄物として扱われるがれきなどが多く発生します。産業廃棄物処理業者が持つ知見や能力、設備を活用することで、迅速かつ適正な廃棄物処理が期待されます。

同支部に加盟しているのは、北上、花巻、遠野、西和賀の4市町内の31社。この協定を締結することで、同支部が協会各社の車両・機械の保有状況や処理品目などの情報を集約し、災害が発生した際、市に対して、対応が可能な協会の情報を素早く提供できるようにします。加えて、普段から支部が市に対して情報提供を行い、協力体制を構築します。



調印後、協定書を手に握手をする高橋市長と小原支部長

議を開催。避難所対策や医療救護などの各部署では、さまざまな情報を受信してから事案対応後の情報伝達や記録するまでの流れを確認しました。訓練後は、高橋市長から「訓練で気づいた点を、参加していないメンバーとも共有するように」と訓示がありました。今後、訓練を基に課題を確認しマニュアルや地域防災計画の見直しに役立てていきます。

市内の避難者状況

(3月31日現在)

区市町村	宮古市	山田町	大槌町	釜石市	大船渡市	陸前高田市	宮城県	福島県	合計
世帯	1(0)	11(0)	22(0)	11(0)	7(0)	8(0)	7(-1)	3(-4)	70(-5)
人数	2(0)	21(-1)	35(-1)	23(0)	12(0)	10(0)	10(-1)	8(-8)	121(-11)

※()は前月比。市で把握している人数です。市内に避難している人で、まだ北上市に連絡していない人はご連絡ください。

※広域避難者の住宅再建が進んできていることや、みなし仮設入居者や転入被災者などの変動も小さくなっていることから、本年度より4半期ごとの掲載とします。

スポーツリンク北上設立総会開催

スポーツリンク北上設立総会は3月29日、市内ホテルで開催されました。

「スポーツリンク北上」とは、スポーツによる交流人口の増加と地域経済の活性化を図ることを目的として設立された官民共同の組織。構成団体は、スポーツ関係、経済、観光関係、報道機関、関係行政機関など13団体です。総会では、設立までの経過報告が行われ、その後の議事では、規約、役員を選任、事業計画と予算について決定しました。

今後、市内や周辺地域にあるスポーツ資源を観光資源として活用。スポーツに関するイベント・大会・合宿の誘致や企画・運営を通してツーリズムなどを推進していきます。

「スポーツリンク北上」

構成団体

○(公財)北上市体育協会 ○特定非営利活動法人フォルダ ○北上市陸上競技協会 ○北上市ラグビーフットボール協会 ○北上市ソフトテニス協会 ○夏油高原活性化タスクフォース

○(株)北日本リゾート ○北上商工会議所 ○JR東日本北上駅 ○(社)北上観光コンベンション協会 ○北上市ホテル旅館組合 ○北上ケーブルテレビ (株) ○北上市



これからの活動に向けて意欲を見せる会員の皆さん

百歳 これからもお元気で

市は、3月に満百歳を迎えた堀井良藏さん(和賀町横川目)に祝い状と記念品を贈り長寿を祝いました。

良藏さんは大正6年3月14日生まれ。25歳で愛子さんと結婚し、子3人、孫7人、ひ孫6人に恵まれています。車掌として旧国鉄に採用され、長年勤務し家庭を支えてきました。納税組合の組合長も務めていた良藏さん。花巻税務署から表彰も受けました。趣味は旅行と盆栽。数年前までは、サツキの盆栽をしていたそうです。現在は、週3回のデイサービスを利用して、ぬり絵を楽しんでいます。



家族などから祝福を受ける良藏さん(中央)

「スマート」ですか？



行った行政マネジメントシステムの内部監査の結果、慣例で続けている業務には多くの無駄がありそうで、それらの検証で業務時間を短縮したいと考えている。職員には作り出した時間を子育てや地域活動、市民活動などに振り向け、豊かなライフスタイルを創造してもらいたい。

新しい年度が始まり、仕事の辞令交付式において「スマートワーク宣言」を行った。「スマート/smart」とは「賢い」という意味の英語であり、賢く働く、いわゆる働き方改革に全庁で取り組もうとするものである。私を含め、部課長級以上全員が宣言書に署名した。月曜日の午後8時に消灯する「ライトダウン運動」、第2月曜日の「ノー残業デー」のほか、お客さまに爽やかに接するためのあいさつ運動など、すぐに取り組めることから手掛けている。加えて「イクボス」として男女を問わず育児休業や有給休暇の取得を推奨する。

市民サービスを低下させずにこれを実現するためには業務の生産性向上を図らなければならない。実は、昨年度に行った行政マネジメントシステムの内部監査の結果、慣例で続けている業務には多くの無駄がありそうで、それらの検証で業務時間を短縮したいと考えている。職員には作り出した時間を子育てや地域活動、市民活動などに振り向け、豊かなライフスタイルを創造してもらいたい。

この「スマート」について、皆さんは「スリム/slim」に近いイメージをお持ちかも知れないがそうではない。本来「賢い」という意味で、既に「あじさい型スマートコミュニティ構想モデル事業」に使用している。これはエネルギーを地域で賢く作り、賢く使う仕組みであり、持続可能な地域エネルギーシステムを構築しようとするものである。都市政策でも「スマートシティ」という名称で都市の成長を賢くコントロールする政策などに使われており、当市のおじさい都市もスマートシティの一種と言える。

「あなた、とつてもスマートですわね！」と言われ、もしあなたがポツチャリ体型だったとしても、これは決して嫌味ではないので悪しからず。